



5/25(木)第1回学校運営委員会

〈話し合われた主な内容〉

○5校時目の授業参観の感想より

- ・5・6年の参観日と重なっていて、多くの保護者が来校されていた。お父さんが多く参観している印象を受けた。教育への関心の高さを感じる。
- ・先生の話をもじめによく聞いていた子どもたちが多かった。
- ・手を挙げている姿が見られてよかった。
- ・掲示されている図工の作品をみて、保育園を卒園した子どもたちが大きく成長していると感じた。

○学校運営に関わって

- ・タブレット端末を使いたいじめについての相談等について
→道教委に「おなやみポスト」というところがあり、タブレット端末を使い、自分で入力し相談することができる。また、心の教室相談員を配置していることで、相談ポストを校内に用意している。
- ・子どもにとってのいじめに対する感じ方の温度差について
→本人が言われたりされたりして嫌だと思ったことは、いじめとして認知している。どのような状況だったのか丁寧に聞き取りをして、いじめ解消に向け、寄り添う指導をしている。未然防止と早期発見「いじめ見逃し0」のため、日常的に今後も教育活動を進めていく。毎年5月に人権擁護委員の皆様にご来校いただき、全学年で人権教室を実施している。
- ・心の教室相談員について
→週2回、月曜日と木曜日に来校している。基本的に休み時間に相談室を開放し、話しやすい雰囲気づくりに努めている。個別に話をしたい場合は、時間を決め話をするようにしている。担任や保護者だけでなく、相談できる場所が多くなることにより、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるとともに、児童理解を深め指導に役立てていきたい。
- ・小中一貫教育について
→「夢に向かい 行動する子」を目指す子ども像として、野幌中学校区の職員全員で15歳の姿を見据え「一貫した指導」「系統的な指導」「相乗的・補完的な指導」を進めている。豊かな自然や人材、大学等がある野幌中学校区のよさを生かしながら子どもたちのために推進していく。
※自己評価及び学校関係者評価の分野に「小中一貫教育」を新設し、評価していただくことを確認した。
- ・幼保こ小連携について
→気軽に交流を進めていきたい。散歩の時等に園児と一緒に小学校の様子を見に来たり、グラウンドでの活動の様子を見に来たりすることも可能である。また、一斉公開日等の際に参観したり、小学校からも保育園の様子を見に行ったりと、できるところから進めていく。